

今夏の電力需給見通しについて

平成29年5月12日
北陸電力株式会社

本日、政府の「電力需給に関する検討会合」において、今夏の電力需給対策及び北陸エリアにおける今夏の電力需給見通しが示されたのでお知らせいたします。

今夏の電力需給見通しについては、電力広域的運営推進機関の「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」で検証が進められ、経済産業省の「電力・ガス基本政策小委員会」にて審議されてきました。その結果を踏まえ、本日、政府の「電力需給に関する検討会合」において今夏の電力需給対策が決定されました。

この会合において、全国で電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しが示され、昨年に引き続き、政府として特別な節電要請を実施しないこととなりました。一方で、大規模な電源脱落等により電力需給がひっ迫する場合への備えとして対策を行うことも示されました。

当社としても志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

今回の政府の決定を踏まえ、今夏はお客さまへの特別な節電のお願いは行ないませんが、引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以 上

添付資料：北陸エリアにおける今夏の電力需給バランス

北陸エリアにおける今夏の電力需給バランス

猛暑(2010年度並みの気温)の場合

[送電端、単位:万kW, %]

	7月	8月	9月
供給力 [※]	593	544	510
最大電力	522	522	486
供給予備力	71	22	24
供給予備率	13.7%	4.3%	4.9%

※火力増出力考慮

(注1)電力・ガス基本政策小委員会「電力需給検証報告書」より

(注2)上記の最大電力はいずれも一日最大で想定している